

馬鈴薯品種の適応性について

橋口満男*・三善重信*

HASHIGUCHI, M. & MIYOSHI, S. On the Adapiability of Potetoe Varieties

I. 目的 農林省育成中の馬鈴薯新品種について本県春秋作別適応性を検討した。

II. 試験方法 1) 供試品種. 39種, 春作種薯は農林省原種農場より毎年導入, 秋作種薯は春作薯を利用。

2) 区制, 面積, 株間. 1区3坪3区制, 5尺×0.9尺, 2条植。

3) 耕種概要. 早掘試験—2月25日植…3回掘…1回5月25日…2回6月15日…3回6月25日, 春作試験—3月10日植…6月15日掘, 秋作試験—8月19日催芽…9月9日植…11月20掘, 現地試験—慣行による。

III. 試験結果 a) 春作試験成績

1953年より1955年迄の3ヶ年間の成績によると, 標準品種より増収性で大きいも少含の多いものはホイラー, 西海1号, 農林1号, 同2号で薯の肥大状況から次の3つの型に大別出来るようである。

△, 早期肥大型—ホイラー, ツーバー。

△, 晩期肥大型—ケネベック, 明星, 島原30。

△, 比較的早期より晩期まで肥大する型—西海1号, 農林2号。

b) 秋作試験成績 秋作の成績では農林1号が高い適応性を持つので毎年標準以上に増収性を示したものはホイラー, 西海1号, 同2号で, 他は期待出来ず現地試験でも同一傾向が認められた。

春秋作馬鈴薯有望種成績

春 作				秋 作			
品 種 名	個 数	重 量	対標準比率	品 種 名	個 数	重 量	対標準比率
男 爵 (標)	458	629.5	100	農林1号 (標)	284	428.5	100
ホ イ ラ ー	339	737.9	138	ホ イ ラ ー	290	585.3	146
農 林 1 号	530	718.1	123	農林1号 (標)	322	524.6	100*
農 林 2 号	468	726.3	123	西 海 1 号	328	666.0	131*
農林1号 (標)	507	768.2	100*	西 海 2 号	331	673.2	126*
西 海 1 号	518	815.8	122*				

[註] 27, 28, 29年3ヶ年平均。但, *印は28, 29年2ヶ年平均。

IV. 考察及び摘要 ○男爵以下39品種を供試し1953~1955年の3ヶ年にわたり, 福岡県における適応性を検討した。

○春作早掘用として有望なものは西海1号, ホイラー, ツーバー, 農林1号, 同2号

○春作増収品種としては西海1号, 農林1号, 同2号

○秋作用としては西海2号, 同1号, ホイラー, 農林1号が良かった。

○ツーバーは赤芽で食味不良で将来性無く, ホイラーも食味が良くないので過渡的な品種である。

○本県としては春作用西海1号, 秋作用西海2号を選抜した。

*福岡県農業試験場